

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、軟調なブラジル指標の影響もありレアル安で推移する時間帯も見られたが、引けにかけてはドル売りレアル買いが優勢となり、3. 13台前半で取引を終えた。公表されたブラジル4月鉱工業生産は前月比1. 2%減と経済の低迷を裏付ける結果となった。特に、資本財の生産が5. 1%と大きく減少するなど、景気減速で消費が滞る中、投資活動が停滞しつつあることが示された。ブラジル国内の製造業は高税率に加えて、高い労働コストや不十分なインフラなどに長年苦しんできたが、足許では金利上昇や政府支出の削減が一段の重石となっており、マーケットの一部では、「ブラジル経済は第2四半期もマイナス成長に陥る可能性がある」との指摘が早くも聞かれている。但し、昨日のレアル相場はギリシャ情勢を巡り楽観的な報道が伝わったことで、レアル買いの動きが鮮明となった。ギリシャのTsipras首相が、状況打開に向けた新提案を債権者側に提出したことを明らかにした一方、債権者側当局者も「デフォルトを回避するためギリシャに示す最終案について合意」と発言。下落基調が続いていたユーロもこの報道を受けて買戻しが強まった。しかし、ユーログループのDijsselbloem議長が「合意にはまだほど遠い」との見解を示すなど、不透明な状況は続いている。

本日は金融政策決定会合(COPOM)が開催される。利上げ幅に関するマーケット予想値は25bpと50bpに分かれているものの、足許でインフレ率が8%を上回って推移していること、経済停滞にも関わらず中銀高官からインフレを警戒する発言が続いていることを考慮すると、50bpの可能性が高いと見込んでいる。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月1日	6月2日	前日比	4月30日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,37	39,63	+0,26	39,60	+0,03
USD / BRL Spot	BRL	3,1684	3,1323	-0,0361	3,0145	+0,1178
USD / JPY Spot	JPY	124,77	124,11	-0,66	119,38	+4,73
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.031	54.236	+1.205	56.229	-1.993
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	238,2	234,5	-3,7	234,3	+0,2
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,27	12,45	+0,18	12,80	-0,35
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,88	13,87	-0,01	13,67	+0,20
3 Months US Dollar Libor	%	0,283	0,283	+0,000	0,279	+0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	223,5	225,8	+2,3	229,5	-3,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

